

登録コード	A3591337	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	諸白 家奈子
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ， 2 0 2 1 Aカリ， 2 0 2 0 Aカリ， 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					プレゼンテーション技術の基礎を習得する。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					聴衆の前で自身の研究内容をわかりやすく発表することができる。	
	2 0 2 6 A3 編（24A）， 2 0 2 5 A3 編（23A）， 2 0 2 4 Aカリ， 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					プレゼンテーション技術の基礎を習得する。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					聴衆の前で自身の研究内容をわかりやすく発表することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。						
(5)授業計画	第1回、プレゼン資料の作り方（資料配布） 第2-15回、他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究テーマに関する文献をスライド等を用いて発表する。また、第15回の最後に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	各自の研究に関する文献について、1)背景・目的・方法・結果・考察をそれぞれポイントとなるべき部分を押さえたスライドや補足資料などを作成、2)プレゼンテーションでは他の参加者が理解しやすい説明、さらに3)質疑することが求められます。 この1 3が十分に達成できかつ質疑応答に的確に答えられる：卓越している この1 3が十分に達成できている：かなり上にある この1 3が概ね達成できている：やや上にある この1 3の基本事項が達成できている：水準にある						
(8)事前事後学習の内容	事前学習として自分の発表の準備、特にスライドの作成を行って下さい。また他の参加者の事前資料などを熟読し、不明点や疑問点を明確にしておいて下さい。						
(9)テストやレポートの予定	必要に応じてテストやレポートを求めます。						
(10)成績評価の方法	「(5)成績評価の基準」に挙げた内容に対する取り組みの成果とを総合的に判断し、下記の通りに評価します。 評価基準： S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員が随時、質問等に応じる。						
(12)履修上の注意	本科目は受講者に実際にプレゼンテーションと質疑応答を行なってもらうため、12回以上の出席がないと成績評価の対象となりません。						
【教科書】	特になし						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）						